

心豊かな地域づくりをめざして 知りあって 触れあって 学びあおう 公民館委員総会



公民館長が基本方針を語る

竜丘の文化的豊かさを高めたい
公民館長 木下 陸奥

今年の四月、飯田市教育委員会の紹介で、サントリ文化財団の職員と東大法学部の先生とが竜丘公民館を訪ねてきました。前もって「大正期の竜丘の自由教育について調べたい」と依頼がありましたので対応いたしました。

竜丘のことを大変詳しく調査されているのに驚きました。竜丘について興味をもって調べるなかで、大正期の自由教育の土壌と現在の公民館活動の土壌とが関係があるのではなからうかということでした。したがっ

て、文化的土壌がどのような育まれ、それが現在の姿に結びつくものを引き出すとしていました。

市図書館で竜丘の公民館報の縮刷版で公民館の歩みを詳細に調べ、主要な箇所はコピーしてありました。自由教育の実像もしっかり調べておりました。

公民館としても追求したい事柄であったので、沢山の示唆をいただいたのです。外部の研究に依存することなく私たち自身生き方として捉えることが大事であります。

公民館の地域活動は、時代の流れの中で育まれた土壌に支えられているのです。今年、竜丘公民館が発足して六〇年目の年であり

去る四月二十七日、公民館委員総会が開催され、今年度の基本方針、事業計画、予算が決定され新年度がスタートしました。長年にわたり公民館に尽力された方の表彰も行なわれました。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,864人
男子 3,374人
女子 3,490人
世帯数 2,196戸
(18年4月末現在)

竜丘公民館 年間計画

事業名	予定日
親子ふれあいハイキング(春)	[文] 5月21日(日)
はつらつフィットネス	[体] 6月11日(日)
ソフトボール大会	[体] 7月9日(日)
親子ふれあい映画会	[文] 15日(土)
ふるさとコンサート	[文] 17日(月)
人形劇フェスタ	[文] 8月3日(木)～6日(日)
レディースソフト2006	[体] 27日(日)
竜丘市民運動会	[体] 10月8日(日)
親子ふれあいハイキング(秋)	[文] 28日(土)
Cブロック女性バレーボール大会	[体] 29日(日)
文化祭	[文] 11月11日(土)～12日(日)
飯田市女性バレーボール大会	[体] 26日(日)
ソフトバレーボール大会	[体] 12月3日(日)
成人式	[文] 1月7日(日)
New Year Concert/新年会	[文] 20日(土)
冬季スポーツフェスティバル	[体] 21日(日)

※ [文]：文化委員会の主管事業 [体]：体育委員会の主管事業

文化委員 熊谷 且至

文化委員会は、事業の活動を通じて地域住民の皆さんとの交流と学習の場を幅広く提供していきたい、より良い地域づくりへのきっかけとなるような働きかけを行って行きたいと思っております。

親子ふれあいハイキング・人形劇フェスタ・ふるさとコンサート・文化祭・ニューイヤーコンサート・市民大講義座・親子ふれあい映画会を計画しております。

ふるさとコンサートでは京都市立芸術大学の弦楽四重奏団を迎えヴァイオリン、

トルノオリンピックでカーリングをご覧になりましたか？ やってみたいと思われたでしょ。できるんです。

それに似たものでベタンクという競技があります。今年度も講習会とマスターズを開催します。ぜひ体験していただきたいと思っております。

そして、久しぶりにソフトボール大会も企画しました。太陽の下で楽しく汗を流しましょう。

その他健康と柔軟性を高めるはつらつフィットネス・メインイベントの市民運動会・唯一分館予選の行われるソフトバレー大会・「寒さに負けず体を動かそう」冬期スポーツフェスティバル等の行事を予定しております。

体育委員 吉川 博則

ます。竜丘の土壌をいっそう高まるよう頑張っていきたいものであります。

ピオーラ、チェロの生の演奏を楽しんでいただき、人形劇フェスタでは、各分館開催の他に本館にて有料公演も計画しています。

誰もが気軽に参加していただくとともに、みなさんのご意見を大切にした活動をしていきたいと思っております。

平成18年度 竜丘公民館委員名簿

館長 木下 陸奥

委員会	委員長	副委員長	委員
広報委員会	則 勲	吉 久	川 保、川 美、川 水、川 清、川 小、川 青、川 山、川 高、川 橋、川 北、川 牧、川 久、川 小、川 藤
民俗資料保存委員会	俊吾	千健	平 田、千 正、千 賢、千 藤、千 村、千 中、千 塚、千 林、千 今、千 牧、千 塩、千 山、千 河、千 下、千 小、千 宮、千 西、千 伊
文化委員会	雄彦	久喜	中 原、中 山、中 沖、中 今、中 三、中 伊、中 折、中 牧、中 熊、中 藤、中 関、中 小、中 西、中 平、中 下、中 後、中 木、中 長、中 佐、中 下、中 田
体育委員会	博 則	吉 久	川 保、川 美、川 水、川 清、川 小、川 青、川 山、川 高、川 橋、川 北、川 牧、川 久、川 小、川 藤
正・副分館長	野 原	野 原	野 原
分館主事	野 原	野 原	野 原
文化協力員	野 原	野 原	野 原

民俗資料保存委員会 林 正己

民俗資料保存委員会の活動にご理解御協力を頂いております。誠に感謝申し上げます。地区民皆様の協力添えにより貴重な資料を後世に伝える事が出来ます。

本年度は、従来の活動に加えて、「丘の語たち」の第四集の発行を計画致しております。皆様の思い出の中に無形の遺産を後世に伝え残し記録したいと思います。



表彰

長年の公民館活動の功績

と考えております。具体案は、これから計画します。思い出話に花が咲くと言いますが、なつかしい思い出を、どうぞお寄せ下さい。

大変お世話になりました。塩澤 正憲さん(長野原) 平成十年度：体育委員、平成十三年度：文化副委員長、平成十四年度：文化委員長、平成十五年・十六年度：文化協力員(スタッフ)、平成十七年度：文化委員 (通算六年)

今年三月末までに、飯田下伊那地域の三つの医療機関が産産のお世話をしなくなりしました。この産科医減少の問題は、全国的にも問題となつております。安心して赤ちゃんを産める場所が少なくなつてきています。

この理由には、まず少子化があげられます。赤ちゃんの数そのものが少なくなつていくので、病院は経営的に産科を維持できないようです。また、仕事を持つ女性が産産・育児に踏み切れないことや、お産で休職したから経済的にもピンチになることなども原因と思われま

少子化は、社会全体に深刻な複雑な影響を及ぼします。少子化が進むと働く人は減り、医療や福祉のしくみは、こわれてしまう恐れがあります。また、社会全体からもエネルギーが失われてしまうでしょう。

少子化に歯止めをかけるよう、保育サービスの充実や地域の子育て支援ネットワークづくりなど、さまざまな手が打たれてはいますが、厳しい状況は続いています。

そして、産科医問題のうひとつの理由は、産科医のなり手が少なくなつていくことにあるようです。産科医の仕事は過酷で、病院では出産に備えて、常に待機しなければならぬことや、出産がらみの医療訴訟も少なくないことが、なり手不足の要因と考えられています。

昨年、日本の人口は史上初めて減少に転じました。少子化が進めば、安心して産める場所は減り、さらに少子化を進ませます。子育て世代が安心して赤ちゃんを産み育てられるようになるには、どうすればいいか考える時期が来ています。

企 画 会 議

正・副分館長	分館主事	各委員会正副委員長
◎議長 沖田 忠義(桐林分館長)		

監 査 委 員

時又 今	村 理	則 駟	増 田	信 義
------	-----	-----	-----	-----

運 營 審 議 会 ◎委員長 ○副委員長

時 又	◎河 下	井 平	澤 隆	隆 巧
長 野	塩 木	沢 下	岡 木	下 玲
時 又	木 本	本 博	市 彦	〇中 島
			龍 小	池 武
			池 小	戸 昭

「ア」

古墳を学び自然を満喫

親子ふれあいハイキング

春の親子ふれあいハイキングは、五月二十一日に行われました。前日までの雨で開催が心配されましたが、当日は暑いほどの好天に恵まれました。

今回のハイキングには、子どもやお年寄りなど五十名程の参加があり、初夏の心地よい汗をかきました。ハイキングコースは、竜丘地区内の古墳や臼井秘境をめぐり、講師の竜丘古墳を考ふる会長、丘のみちるべ編集座長の下平隆司さんに、写真や、説明の図などで、わかり易く説明していただきました。

塚原古墳の二子塚では、きれいに整備された遊歩道を歩いて古墳に上り、見晴らしのいい景色のなかで、周りの古墳群についての説明もありました。



臼井秘境の丸太橋を歩く



塚原二子塚で説明を聞く

馬背塚古墳では、石室の中に入り説明を聞きました。石の大きさや、こうもりの飛び交うのを参加者一同驚きました。

開善寺では、考古資料館を見学しました。館長今村文一さんより展否古墳・遺跡のことを説明していただきました。

臼井秘境は、臼井川上流部より下流に向かいました。間伐材で作った丸太橋を渡り、公民館委員の方々が中心となり整備してくれた遊歩道を通りました。途中では、座頭の手や、黄金の滝など自然のままの姿を見ることが出来ました。

自然とのふれあいを大切に

竜丘児童館の取り組み

長野原公民館を八年経験し、一段落した感じでしたが、この度同館長を拝命し、既にスタートしていますが、何にしても初めての事で毎日勉強です。

大人の学校で諸先輩方と共に学び児童館では「メリーヤングとのお付き合い」大変思われた環境の中で過ごせる事の幸せを感じております。

児童館は、放課後の児童からお借りして、野菜作りも体験しています。自然に触

健全育成を目指した、市の教育委員会が関わる事業で、共働きの家庭を支援するのが主目的です。しかし、学校でやる勉強を教える訳ではありません。むしろ学校ではあまりやらない事を体験出来る場になるように考えられています。

野外活動として一五〇平米位の土地を地元の方々からお借りして、野菜作りも体験しています。自然に触



竜丘児童館 館長 小林 泉

平成17年度竜丘公民館地区費決算報告

区分	行爲NO.	項目	本年度決算額	本年度予算額	比較	説明	
歳入	1	前年度繰越	406,400	406,400	0		
	2	地区費	2,607,000	2,550,000	57,000	前期1,758千円×750円、後期1,658千円×750円、過年度4千円×750円	
	3	補助金	165,000	175,000	-10,000	自治会より(成人式:150,000円) 社協より(映画会:15,000円)	
	4	雑収入	88,009	20	87,989	運動会・文化祭ご祝儀(63,000円)、分館印刷機維持費(25,000円)、預金利息(9円)	
		合計	3,266,409	3,131,420	134,989		
歳出 総務費	5	報酬	200,400	215,000	-14,600	委員報酬地区費負担分:注1)	
	6	賃金	59,000	59,000	0	0 用務員文書配達賃金	
	7	交際費	58,221	60,000	-1,779	館長交際費	
	8	消耗品費	138,709	100,000	38,709	事務・事業用品	
	9	会議費	169,175	220,000	-50,825	委員会等一部補助	
	10	食糧費	226,500	240,000	-13,500	反省会等飲食代一部補助	
	11	修繕費	0	30,000	-30,000	設備、備品修繕	
	12	維持・管理費	75,335	70,000	5,335	公民館清掃謝礼(日赤)、白布クリーニング代、公民館大掃除経費	
	13	通信運搬費	10,500	15,000	-4,500	郵送料	
	14	使用貸借料	49,743	50,000	-257	バス借上料、会場使用料	
	15	研修費	50,000	50,000	0	0 委員研修	
	16	負・補・交	179,000	178,500	500	団体負担金、各種大会参加補助:注2)	
		計	1,216,583	1,287,500	-70,917		
	歳出 事業費	17	成人式	234,676	200,000	34,676	記念事業、記念写真、祝賀会一部補助ほか
		18	運動会	568,647	550,000	18,647	用具更新、賞品代、賞金ほか
		19	文化祭	315,677	300,000	15,677	物品借上料、消耗品費ほか
20		体育大会	115,690	240,000	-124,310	分館参加賞、審判昼食代、用具代ほか	
21		文化事業費	139,899	140,000	-101	ふるさとコンサート、ニューイヤーコンサート、市民大学講座事業費ほか	
22		その他事業費	233,683	200,000	33,683	学級・講座、アロマ講座、親子の広場、図書分館、他各種事業費	
		計	1,608,272	1,630,000	-21,728		
23	予備費	441,554	213,920	227,634	次年度へ繰り越し(平成18年度4~7月運営費)		
	合計	3,266,409	3,131,420	134,989			

差引残高 441,554円は、平成18年度へ繰越し
 平成18年3月31日 竜丘公民館長 木下 陸奥
 【監査報告】
 平成18年4月1日 監査したところ、証拠書類等整理され適正なる処理がされていることを認めました。
 監査委員 今村理則 檀田信義

桜の花もお祝い

祝万寿山五十周年

桐林の北側に位置し、桜の名所としても知られる万寿山が、開園以来五十周年を迎えました。

桐林区会を中心に、各種団体が協力し合い記念行事が晴天に恵まれて盛大に行なわれました。

甘酒、豚汁などのサービスがあり、中でも振舞い酒は、竹で作った器を利用するなど工夫が見られました。又、提灯についても一部新しくしたり、各家庭に希望を取り希望者が思い思いの絵を書いた提灯も飾られていました。

式典では、各戸に配られた番号札で抽選を行なった「富くじ」が行なわれ、多くの区民のみなさんが一喜一憂しました。

最後に十一常会(延べ四



百人(各場所にて、大人から子供まで一緒にお花見を行ない、万寿山五十周年を盛大に祝いました。

人事

支所長 善之 森

新しい建物、すばらしい環境の中で仕事が出来ることが嬉しく思っております。皆様方と共に、竜丘地区発展のため頑張っておりますので、よろしくお願いたします。



出納担当 村下真一

最高の環境の中で仕事をさせて頂いております。地域の皆様のお役に立てるよう努力して参りますのでよろしくお願いたします。



公民館主事

木下 慎一郎

すばらしい伝統と実績のある竜丘でみなさんと一緒に活動させていただくことになりました。心豊かな地域づくりの拠点となるよう公民館活動を盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



工業課

湯沢 英俊

天竜峡エコバレーを中心、人や環境にやさしい快適な住まい、まちづくりを皆様と共に進めていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



転出

伊藤 晃

(支所長) 庶務課へ
 竜丘での四年間「地域や人はこうやって育んでいくもんだ」というものを見させていただきました。皆様を支えられ教えられる感謝です。

出口 光利

(公民館主事) 上郷公民館へ
 公民館と各種団体の連携のあり方について大きな勉強をさせていただきました。皆様方に助けられての四年間でした。大変お世話になりました。

和泉 忠志

(工業課 社会福祉協議会へ) エコハウジングビレッジを中心にお世話になりました。市民参加型のまちづくりによる竜丘地区の発展を期待しています。

今村 浩 二

(戸籍担当) 防災交通課へ
 竜丘の皆様には大変お世話になりました。貴重な経験ができた、あっという間の四年間でした。ありがとうございました。

